愛知県高齢者生活協同組合　２０２１年

たより

１　月

第２２２号

＜発行＞愛知県高齢者生活協同組合・本部事務局
〒４６０－００２１　名古屋市中区平和２－２－３６
電　話　０５２－３３１－４８５３　　ＦＡＸ　０５２－３３１－２７３５
ホームページ　http://aichikoreikyo.web.fc2.com/

●もくじ●

新年のあいさつ
理事長新年あいさつ/春日井/岡崎/守山/絵画サークル/一宮/ほみ/パソコン教室・・・・・・・・・・・・・1～6
協同労働リーダー基礎研修を通して、協同労働にふさわしい絆を求めて・7
世界遺産巡り、労働者協同組合法が成立したらどう変わるの？・・・・・8

謹賀新年

2021

表紙の絵は、春日井市の組合員梶田真弓さんの絵手紙イラストです。今年も生き生きとした作品をありがとうございます。

あけましておめでとうございます。

高齢者生協の全事業所の利用者と家族の方々、そして全職員が、新型コロナウイルスに感染することなく、新年を迎えられたことを、まずもってお祝いしたいと思います。

今年は、春日井事業所「ぬくもり」で、念願の小規模多機能型居宅介護事業所を含む複合施設が四月に開設します。

この新規事業に挑むぬくもりをはじめ、守山あまこだ、岡崎かけはし、豊田ケアセンターほみ、一宮まったりの各事業所の皆さんが気持ちを一つにし、事業の立ち上げに協力協同し成功させましょう。

二〇二〇年一二月四日、国会で、私たちが三〇数年来成立を目指し運動と実践を積み重ねてきた「協同労働の協同組合・労働者協同組合法」が成立しました。

昔のことわざに「新しい酒は新しい革袋に盛れ」とあります。この法律の成立を機に、今一度、理事会をはじめとし、全事業所の運営、働き方、出資の総点検をする年にしましょう。

全事業所が、働く者、利用者・家族、地域との三つの協同を文字通り実践していこうではありませんか。

コロナ禍の中、全事業所も大変な状況にあり、愛知県高齢者生協の力量が試されます。このような情勢だからこそ、公助が前面に出て、医療、介護をはじめ必要なところへ集中的に予算が投入されるべきです。

私たちは、政治にもしっかり目を光らせ、誰ひとり取り残されることのない社会の実現をめざしていきましょう。

愛知県高齢者生活協同組合
理事長　長谷川　勝彦

おめでとうございます！

春日井ぬくもりから

工事も進み、胸がわくわく高鳴ります!!

ぬくもりケアマネ／余語　惠美子

「住み慣れた地域で最期まで過ごしたい。」「関わった利用者を最期まで支えたい。」の想いから、市の地域密着サービス事業に応募し、小規模多機能型居宅介護建設に向けて事が進みました。しかし多額の建設費用とコロナ禍の中で、「工事が間に合うのか。」「体制はできるのか。」等々、不安視する声も有りましたが、ぬくもり職員みんなで、ひとつひとつ相談し話し合いを進める事で、心構えや団結力ができてきています。支える会の発足も心強い後押しになりました。

一一月一七日には上棟式が行われ、形が見えてきて、職員それぞれが写真を撮ったり、「オレンジの屋根がついたよ」「近くを通ったので見てきたよ」「この道を通ると早く行けるよ」等々。施設ができる事を実感し、わくわくしながら新年を迎えようとしています。

今はシートや足場に覆われています。工事の足場が取れた時の姿を思い描き、その向こうに利用者さんの笑顔と楽しく働く仲間の息遣い、地域の人たちの見守る眼差しを想像して、丑年に牛山町で新年を迎えられる幸せを感じています。

まだ防護シートに覆われています

なんでも感謝できる人になることで、穏やかな人生に…

ぬくもりヘルプ／辻　美枝子

もういくつ寝るとお正月～♪と、子ども時代は待ち遠しかったお正月が、最近は一休禅師の「門松は冥土の旅の一里塚　めでたくもありめでたくもなし」の心境です。めでたいはずの正月を門松を立てて祝っているが、毎年これを立てるのは冥土への旅の一里塚のようなもの。正月ごとに死に近づく。死を心の片隅に置いて生きなさい、と戒める歌ですが、コロナ禍の渦中にいる今年は妙に切迫感があります。

介護現場は慢性的人手不足な上に、コロナウイルスによる濃厚接触者、感染者が出た場合、利用者様、家族様に多大な迷惑をかけることになるので、「移らない、移さない」を合言葉に最大限の予防と危機感を持って活動しています。

さて、昨年もたくさんの利用者さんとの出会いと別れがありました。私は高齢者の支援は『自分の行く末』として生き方を学ぶ機会と捉えています。介護職はお世話をするのが仕事、みなさんの言葉をいちいち気にしていては仕事にならないけれど、何をしても文句を言われたり召使のように扱われると、仕事なんだと割り切るようになってしまうのも本心です。お世話をしよう、と素直に思えるような、「かわいいお年寄り」になってほしい、自分はそうなりたいと思います。かわいいというよりは、かわいげがあるというのが正しいかもしれないです。

大勢の方と関わるにつけ、かわいげのある人と感じるのは、素直に「ありがとう」と感謝の言葉が口をついて出る人だと感じます。年を取ると、良くも悪くも地が出てきて、わがまま勝手な性格がでて、嫌味を言ったり他人のあら捜しをしていてはかわいげのある人には程遠く、眉間のしわが深まるばかり。体が不自由になり、見ず知らずの人に下の世話をされることになったとしても、自分が生かされていることに感謝し巡ってきた運命を素直に受け入れて、何でも感謝できる人になることで、穏やかなかわいげのある人生を全うできるのではないかと学びました。

今年は四月から新天地で新規事業をスタートするので、引っ越しや体制作りで目の回る忙しさになるでしょう。愛知高齢協の命運がかかるこれからの展開に武者震いを禁じ得ないです。皆さんの温かい応援を心よりお願いします。本年もどうぞ宜しくお願いします。

岡崎かけはしから

新年あけまして

開所二〇周年!!
笑顔の歴史がしっかりと
引き継がれています！
かけはしケアマネ／
永田　昌子

あけましておめでとうございます。

岡崎かけはしは、今年の五月で二〇年になります。開所のころの写真を見ますと、六名のスタッフの中、杉浦さん、石川さん、そして私永田がいます。若かったですね。

私と石川ご夫妻は高齢者生協ヘルパー講座からのご縁で今に至っています。国が新しく介護保険制度を作り、介護という仕事に大きな夢がありましたが当初は何をしてよいのかわからず、仕事をお願いに行ったり、料理上手な石川さんの「おいしいお昼ご飯」を看板に、デイサービスもオープンしました。二〇年たった今も、かけはしのお昼ご飯は好評です。

そして何よりも利用者さんの笑顔はいつも私たちを支えてくれました。桜の花の下でのお花見会や藤の花の下のお茶会。歩行訓練で二七市まで買い物に出かけたり、伝馬通りをよく歩きました。みんなで吉良温泉へ行ったこともありました。楽しく思い出されます。

中庭の畑では大根などがすくすくと育ってます！

その後、今の岡崎市大門へ転居しましたが、若いスタッフにも笑顔は引き継がれており、利用者さんから「かけはしに来るのが楽しい」と言われるのが自慢です。

かけはしは昨年より「花＊はなカフェ」をオープンし、地域の皆さんや利用者さん、ご家族などを巻き込んで、交流の場となりつつあります。昨今介護保険が厳しくなりつつある中で、これからもかけはしでできる事を探していきたいと思います。

コロナ禍ではありますが、二〇年を祝って楽しいイベントができたらと考えております。その時にはぜひお越しください。

２０年前当時のかけはしのメンバー！

あの時君は～若かった～♪前列左端が杉浦さん、
二列目左端永田さん、その右隣り石川さん

かんたん料理

岡崎デイかけはしのお正月レシピ
かけはし流かんたん伊達巻き

材料
白はんぺん　1枚
（A）卵　Mサイズ　３個、
白だし・砂糖・水　少々

① はんぺんをフードプロセッサーで混ぜる。
② Aを全部混ぜたものをはんぺんの中に入れ、軽くもう一度まぜる。
③ ②を弱火でゆっくり玉子焼き機で焼く。
④ いい色になってきたら、ひっくり返して裏も焼く。（表面が乾く程度）
⑤ 焼きあがったものを巻きすで巻き、輪ゴムで強く止める。
⑥ 冷めたら、好きな大きさに切っていただく。

手作りなら、
甘さも自由に
調節できるね！

よろしくお願いします！

守山あまこだから

みんなで話し合い、「協同労働」の実践へ

あまこだケアマネ／岩田　順子

皆さま、お元気でお過ごしですか？昨年の年明けは、コロナ禍の中で、あのような一年になるとは思ってもいませんでした。

そんな中、実は守山あまこだ、デイサービスえのきの家では、変化が起こりました。一人の若いリーダーが誕生したのです。

ある日のデイ・みんなでちぎり絵の大作を作っています。

介護サービスはご存じのとおり、人手不足、担い手不足が叫ばれて久しい業界ですが、あまこだももちろん例外ではありません。未経験で入職しても、なかなか仕事になじめず辞めていく人も多く、体制が確保しづらいままでした。

そんな中、一人の職員が、労働者協同組合連合会が毎年主催してきたリーダー基礎研修に参加し、そこで事業所のあり方や「協同組合」という組織で働く意味や運営の考え方について学び、また深く考えるうちに、職場の仲間とのコミュニケーションを振り返って、「自分もこういう風にしてみたい」と思うようになったことがきっかけでした。

今、仲間でわいわいと意見を言い合いながら、自分たちの意思で新たな目標を設定し、さあどうしていこうと、新鮮な気持ちで目標に向かってスタートしています。

高齢者生協あまこだは、こうしてもっと若い職員自身がこれからどうなりたいのか考え、利用者と自分たちに合う答えを探しながら進めていくことができると知り、そこに楽しみを見出すことが「協同労働」の実践へと踏み出す第一歩と実感しています。

令和三年の干支の「丑」のように、一歩一歩着実に物事を進めながら、結果につなげていきたいと思っています。

あまこだ絵画サークルです！

守山あまこだ　えのきの家地域交流室で絵画サークルが始まったのは二〇一七年九月の事でした。

講師には、サ高住えのきの家の元入所者でいらした神谷さんをお迎えして、この一月で三年四か月になります。

最初は４名の生徒さんからスタートし、現在では８名に増えて、にぎやかになってきました。

一か月に一度の絵画教室ではありますが、生徒さんが作品を作り上げる時は、その目の輝きから集中力がひしひしと伝わる、とても貴重な時間となっております。（あまこだヘルパー／加藤　司）

利用者さんに丁寧に教える神谷さん（右）

丑年の今年も

コロナ禍で職を失った人々に向けてヘルパー講座を開催！

ケアセンターほみ／上江洲　恵子

昨年は新型コロナウイルスに振り回された一年となりました。毎年九月に開催してきたほほえみ祭りの中止は大変残念なことでした。利用者、保護者から「二〇二一年は開催できるといいね」との励ましを頂きました。また、移動支援のように外出行事を控える利用者も続出し、仕事が減ることもありました。それでも昨年下半期からは毎月のようにヘルパーの依頼、医療的ケアが必要な人からの依頼が増えてきました。

コロナ禍の中、保見ケ丘介護教室（介護職員初任者研修）を開催でき、八月には一一名が修了し、三名がケアセンターほみのヘルパーとして活動しています。今年も一月三〇日から介護教室を予定しており、二〇名の外国人から受講の希望が寄せられています。コロナ禍で仕事を失う人、仕事が減った人、将来に不安を感じている人が増えていることを実感します。知立市からの外国人グループからも「教室を開催してほしい」との声が上がっています。

困難な中でも介護教室を開催し、働く仲間を増やし、地域から求められている活動を今年も進めていければと思います。

初任者研修の実習風景

ケアセンターほみから

チームワークで家族ケアを最期までお手伝い

まったりケアマネ／小島　泰子

令和二年六月ぐらいからさらに体調が悪くなられ、私たちのデイサービスでの対応も徐々に難しくなっていきましたが、ご家族の意思もあって、ご自宅で看取りをする、という方針に沿い、まったりの職員同士意見交換を行いながらのケアがスタートしました。

リクライニング車いすを、浴後のストレッチャー代わりに使用したり、移乗の際Kさんの痛みが極力少ないよう搬送の仕方を工夫するなどしていました。

ご家族は自営業を営まれており、帰宅時間が送迎に間に合わない日もあるなどの状況に配慮して、可能な限り利用時間を延長するなどの対応をしていました。

そんな中、結果的に最期の利用になる二日前、誕生日会と敬老会のお祝いを行うことができ、その時もKさんは体に痛みがあるにもかかわらず、素敵な笑顔を私たちに精いっぱい見せてくださったのでした。

職員が一丸となった支援ができ、おうちでの看取りという希望をかなえることができて、Kさんのご家族からは「デイサービスまったりに支えられたよ」という温かい言葉をかけて頂けました。

その言葉を心に刻んで私たちは、今後も本人、ご家族に寄り添って支援を行っていきたいと思います。

一宮まったりから

笑顔の素敵なKさんは、大正一二年生まれで、デイサービスまったりには平成三〇年六月から利用されていました。

利用当初は短い距離での歩行はできていましたが、次第に筋力低下、年齢的な面もあってやがて立位・歩行ができなくなり、車いす生活となっていきました。

今改めて記録を読み返しても、常に物事に前向きな方で、にっこりと笑う表情が印象的な方でした。

そよかぜパソコン教室 盛況です！

今日も

明けましておめでとうございます。

そよかぜパソコン教室は、いつの間にかスマホ教室になってしまいました。コロナを機に、世の中一気にデジタル化が進んで、高齢者にとっては、生活が複雑になり、大変な時代になりました。また反面これを機会にパソコン、スマホを上手に使いこなす高齢者もあり、何となく二派に分かれるような気もしています。

♥従来の携帯が使えなくなりスマホに変えなければならないという、あまり正確でない情報を受けてスマホに変えられた人もあり（機種によって当分使えます）しかし、買った以上は使いこなせなければなりません。「電話さえかけられればいいわ」という人は、電話とショートメールぐらいでいいでしょう。しかし、友達が、子どもが、孫がラインをやっているので、自分もやりたい！と次はラインで写真も送りたい、孫から来た写真を登録したい等、どんどん意欲が出てきます。

♥マイナンバーカードの取得もやっていてカードの取得もスマホからだと簡単ですが、一人ではなかなかできません。そこで私は高齢者はスマホからではなく郵送でいいよと教えています。（ただし封筒はパソコンからダウンロードしなければならない）又、区役所へ行けば、準備された封筒で教えてもらうとおりにやるだけ。でもね、数年前に送られてきた「個人番号カード交付申請書」はどこにあるかわからない等大変です。この二〇二一年三月から、国の方針として、マイナンバーカードと連携して、健康保険証としての利用ができます。今年一〇月からは薬の情報・医療費情報の連携が可能となります。

♥しかし、マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、申込が必要です。利用の申込は、「マイナポータル」でします。ここまでくるともう説明は出来ません。詳しくはネットで「マイナーポータル」と検索してください。高齢者の皆様も出来る範囲で、デジタル化に挑戦していきましょう。

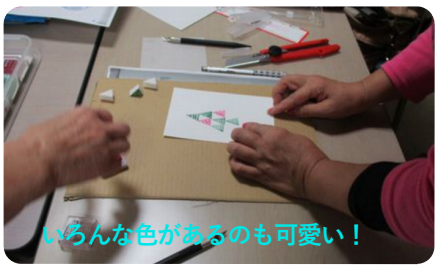
今年も、よろしくお願い致します。

そよかぜパソコン教室運営／秋野昌子（理事）／村田達哉（守山えのきデイ）

教える人が教えられ？

いつもはパソコンの生徒さんが、ある日先生役に回って、特技とする消しゴムはんこで臨時のワークショップを開催しました！好きなことならなんでも教え合えるんですよ♪

小さな消しゴムパーツを手先に集中



いろんな色があるのも可愛い！

今月のうた

銀色の道

作詞：塚田茂、作曲：宮川泰

1

遠い遠い　はるかな道は
冬の嵐が　吹いてるが
谷間の春は　花が咲いてる
ひとりひとり　今日もひとり
銀色のはるかな道

2

ひとりひとり　はるかな道は
つらいだろうが　頑張ろう
苦しい坂も　止まればさがる
続く続く　あしたも続く
銀色のはるかな道

3

続く続く　はるかな道を
暗い夜空を　迷わずに
二人の星よ　照らしておくれ
近い近い　夜明けは近い
銀色のはるかな道

続く続く　はるかな道を
暗い夜空を　迷わずに
二人の星よ　照らしておくれ
近い近い　夜明けは近い
銀色のはるかな道　はるかな道

協同労働リーダー基礎研修を通して
守山デイサービスえのきの家／徳田　諒平

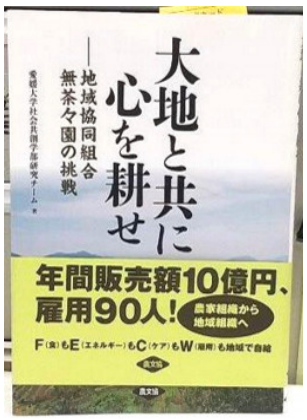
今年度の「協同労働リーダー基礎研修会」に参加させて頂いています。三回のうち二回が修了しました。今回は新型コロナウィルス感染予防のためすべてオンラインでの研修となり、実際に現場に行き見学することはできませんが、現場の方のお話をお聞きすることができました。

職場の中でどのように協同労働を実践しているのか、どのような苦労があったのか、そのためにどのように努力されたかなどを具体的に教えてくださいました。

「協同労働」という言葉は知っていてもどのようなものか理解していなかったのですが、副読本を読んだり座学で学んで行くうちに、協同労働という働き方を知る事ができ、協同労働の大切さを知ることが出来ました。職場においても、この働き方をみんなが理解して、共通の認識を持ちながら働けるようになれればいいなと思いました。

また研修では、座学と共に多くのディスカッションの時間が設けられ、グループ内で自分の意見を発言したり、グループ内の意見をまとめ発表することやグループの司会、進行などをさせていただきました。この経験からも学んだことをみんなに伝わる仕方で発言したり、色々な方の意見をまとめることの大切さを学ぶことが出来ました。

まだ残り一回の研修が残っているのでそこでもまた多くの事を学ぶことが出来るように、また、学んだことを現場に還元できるようにしたいと思います。



研修の副読本は、愛媛県で農業と福祉事業を有機的に連携した実践を行っている無茶々園の本でした。

協同労働にふさわしい絆を求めて
一宮まったり／花木　道雄

多様な人々が暮らす壮大な集合住宅地内に開設された「ケアセンターほみ」。現代日本のテーマである多文化共生の一つの答えが、協同労働を掲げる高齢者生協の中にあり、多くのマスコミも注目してきました。

また、矢作川の堤防を背に建つ「岡崎かけはし」の月一回の「花＊はなカフェ」に集う人たちの会話を耳にし、中庭には野菜畑、施設の一隅にはかけはしの歴史を刻んだ年譜などを見て、みんながここを大切にしている心が伝わってきます。

そして静かな住宅地に囲まれた「守山あまこだ」は、介護事業本来のサービス付き高齢者住宅を軸にどっしりとしたＲＣ造でイベントや集会等多目的に活用可能な姿と、デイフロアーでは、利用者の目に見える位置での食事つくりで食材の匂いを感じられ、利用者の楽しみが聞こえてきます。

地域の支援もあって開設された「一宮まったり」は、町内会、地域のイベントに頼りにされ、メーデー、平和行進、平和美術展などに参加して作品コンクールにも入賞したり、地域の方から畑の作物をいただいたりと、まさに地域密着です。

「春日井ぬくもり」の仲間たちが進めている小規模多機能型居宅サービスをふくむ事業拡大新築工事。「なぜこの時期に」と揺れる心と向き合いつつ、自前の施設づくりに立ち上がっています。春日井市の高齢協ＯＢに呼びかけて、「（通称）支える会」を作り、各種団体への協力要請や建設地区住民との懇談会を重ねることで、この高齢協の抱える問題も少し見えてきました。この事業の成功は、各事業所に必ず勇気と希望を届けるでしょう。

年末の臨時国会は長年の私たちの願いが実り、労働者協同組合法が全会一致で採択されました。今年は協同労働の絆をさらに深め、高齢者生協の一層の飛躍を願っています。

世界遺産めぐり②
「平泉」事務局/加藤美紀

あけましておめでとうございます。

二〇二〇年は新型コロナの流行に始まって、ついに収束の雰囲気もなく新年を迎えてしまいました。

さて、昨年の大河ドラマは明智光秀の「麒麟が来る」でした。本年は「青天を衝け(つけ)」で渋沢栄一を主人公にした幕末～明治にかけてのお話です。そして早くも鬼が笑う情報で、二〇二二年は三谷幸喜作「鎌倉殿の一三人」です。一一九二(いいくに)作れよの源頼朝を支えた一三人の家臣団、中でも後に執権となった北条義時を中心にしたドラマです。今回の世界遺産巡りは、その源頼朝の弟の源義経と縁のある岩手県の古都、平泉町をご紹介します。

二〇一一年に文化遺産として「仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」が登録され、「中尊寺」「毛越寺(もうつうじ)」を含む寺院や寺院跡四か所と山頂から平泉町が見渡せる金鶏山(きんけいさん)で構成されており、海外の影響を受け入れつつ独自に発展させた仏教寺院・浄土庭園などの遺産群が、他に例の無い理想世界の表現であることが評価されました。

観光の中心は寺院巡り。

中尊寺　金色堂

毛越寺浄土庭園

金色堂を含めた国宝や重要文化財が三〇〇〇点余りという「中尊寺」、杉並木に囲まれた静寂の道「月見坂」などをのんびり一日かけて散策したり、自転車でのツーリングや地域のるんるん巡回バスもお勧めです。今は跡を残すのみとなった所も多いですが、季節を問わず四季折々の良さが感じられます。

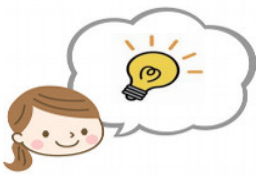
グルメは東北の海の幸や山の幸、古都ならではの料理もバラエティ豊かですが、ここはわんこそばに挑戦してみるべきかもと思います。

愛知県から平泉町へは、中部国際空港～仙台空港～バスで、所要時間は三時間程度です。宮沢賢治ゆかりの地、花巻の観光と合わせて楽しむこともできるようです。

奥州藤原氏四代によって平安末期の約百年間に栄えた平泉町は、冒頭で少しふれたように、源義経が京都で成長した後に身を寄せた地であり、また兄である頼朝から逃れて身を寄せた地でもあります。打倒平家を兄と手を取り合って誓ったにも関わらず、才能豊かであったゆえ政治利用され、その兄に追われる身となった義経の悲劇的な生涯は、物語となり勧進帳や義経千本桜といった歌舞伎の作品にもなっています。

こうした争いの続く時代にあって、当時の人々は、毛越寺の浄土庭園や中尊寺の御堂を訪れた時、本当にお浄土にいるような安らぎを感じられたのではないでしょうか。

労働者協同組合法が成立したら どう変わるの？
事務局・野中喜代子

高齢協に入職した頃、「生協法」という法律があることを私は改めて知りました。そうしたら「労働者協同組合法」というのもあって、それは議員立法で長年国会議員により審議されているということを知り、それがやっと先の一二月四日に成立し、捲土重来とも言えそうな三〇年あまりの年月をかけてようやく成立に至ったのだということを、後追いで知りました。

この法律では「①組合員が出資②組合員の意見を反映③組合員が組合の事業に従事」という三原則を基に、他の組合法と違って非常にコンパクトな単位で組合活動を始めることができ、『大勢の既存組合員がお客様の生協』のような組織運営とはどうやら根本的に異なるらしい、ということまではにわか勉強の私にもわかってきました。そして、地域で日ごろから活動を共にする親しい仲間同士や顔なじみの地域住民で支えあってきた小さな事業でも、法人格を持つことでがぜん信頼と認知度も高まり、自然と行政との連携もしやすくなるメリットがある、というわけです。つまりたとえるなら、超少子高齢化の日本社会においてその融通の良さと働きやすさから、まるで、エネルギー効率が良くて小回りが利き、最新のナビやインテリジェンスモニターを搭載する快適なコンパクトカーを手に入れた…という感じになるのかもしれません。